



今学期中の、保護者、並びに地域の皆さま方からの温かいご支援とご協力に感謝申し上げます。おかげさまで無事に2学期を終えることができます。

来学期もよろしくお願いいたします。

## 2年生は立派な態度で「立志式」に臨みました。



12月9日（金）に「立志式」を開催しました。

講師として、「会津藩校日新館館長」である宗像精様においでいただきました。宗像先生は「ならぬことはならぬものです」で有名な「あいづっこ宣言」の制定に尽力された方です。当日の立志式では「会津のこころ」という演題で講演をしていただきました。中学2年生にとって、難しい内容の話もありましたが、最後まで集中して宗像



先生の話聞いていました。講演の概要を以下に紹介します。

1. 日本人の美しさを、江戸時代から会津の人々は立派に受け継いできました。現代を生きる皆さんも「日本人の美しさ・会津のこころ」を継承して行ってほしい。
  - ① 自分のことばかり主張せず相手の話をしっかりと聞いて、理解しようとする態度を持ってください。
  - ② 「嘘をつかない」「正々堂々と、姑息なことをしない」人になってください。
2. 生きていく上で、いちばん大切なことは親孝行です。
  - ① 親は子どもを、子どもは親を大切にします。このことは会津の教育の原点として受け継がれてきました。皆さんも実行しましょう。
  - ② 自分の身体（髪の毛や皮膚等を含めて）を大事にすることも大切な親孝行です。
  - ③ 「悪いことをしない。」これも親孝行です。
3. これからの生き方として皆さんに期待することです。
  - ① 自分は何のために生きているのか。何をするために生まれてきたのかを常に考え続けてほしい。
  - ② 「人のために何ができるのかを考える」、そして、「人の痛みを知る」人間になってほしい。
  - ③ 「自分に厳しく生きる。決して人のせいにしない。」このことを意識して生活して行ってほしい。



以上のような内容で講話をしてくださいました。

最後に、「自分の人格を高めるための努力を、日々実践できる人になってください。これから先、精進を重ねて行ってください。」と新鶴中学生を励ましてくださいました。